

特殊詐欺について 県民（e-モニター）意識調査実施報告書

- アンケート実施期間
平成26年9月16日（火）から10月6日（月）までの間
- 対象者数
1,181名
- 回答者数
825名
- 回答率
69.9%
- 回答属性

【性別】

	男 性	女 性
回答者数（人）	448	377
構成比（%）	54.3	45.7

【年齢階層別】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
回答者数（人）	77	165	198	190	162	33
構成比（%）	9.3	20.0	24.0	23.0	19.6	4.0

【地域別】

	北 勢	中南勢	伊勢志摩	伊 賀	東紀州
回答者数（人）	400	233	104	68	20
構成比（%）	48.5	28.2	12.6	8.2	2.4

○ アンケート結果

Q 1～Q 5 は、特殊詐欺（振り込め詐欺等）についての設問です。

Q 1 自宅に振り込め詐欺等の電話がかかってきたり、金融商品等を紹介したパンフレットなどが郵送されてきたことが「ある」と答えた方の割合は78.4%でした。

Q 2 Q 1で「ある」と答えた方の98.9%の方は被害にあいませんでした。1.1%（2人）の方が被害にあってしまいました。

Q 3 被害にあわなかった理由をたずねたところ「テレビや新聞等で、特殊詐欺（振り込め詐欺等）の手口を知っていたから」（73.9%）を選んだ方の割合が最も高く、次に「チラシやポスターで特殊詐欺（振り込め詐欺等）の手口を知っていたから」（36.4%）、「日頃から家族と特殊詐欺（振り込め詐欺等）について話題にしていたから」（27.3%）を選んだ方の割合が高くなっています。

Q 4 特殊詐欺（振り込め詐欺等）を未然に防止するための効果的な方法について、「テレビ、ラジオによる広報」（76.6%）を選んだ方の割合が最も高くなっています。

Q 5 自宅の電話機は日頃、留守番電話に設定してあるかたずねたところ、「している」（49.8%）、「していない」（50.2%）と、ほぼ同じ割合でした。

Q 6 特殊詐欺（振り込め詐欺等）の被害を予防する対策機器として、相手との通話内容を録音する装置が効果的であることを知っているかたずねたところ、「知っている」と答えた方の割合は65.9%でした。

交通事故防止について 県民(e-モニター)意識調査実施報告書
「交通事故防止に関するキャンペーンの認識度調査」にご協力いただき、ありがとうございました。実施結果を次のとおり報告します。

1 アンケートの概要

- (1) 実施期間
平成26年9月16日(火)から同年10月6日(月)までの間
- (2) 対象者数
1181人
- (3) 回答者数
825人
- (4) 回答率
69.9パーセント
- (5) 回答属性

○ 性別

区分	男性	女性	合計
回答者数	448	377	825
構成比	54.3%	45.7%	100.0%

○ 年齢階層別

区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
回答者数	77	165	198	190	162	33	825
構成比	9.3%	20.0%	24.0%	23.0%	19.6%	4.0%	100.0%

○ 地域別

区分	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
回答者数	400	233	104	68	20	825
構成比	48.5%	28.2%	12.6%	8.2%	2.4%	100.0%

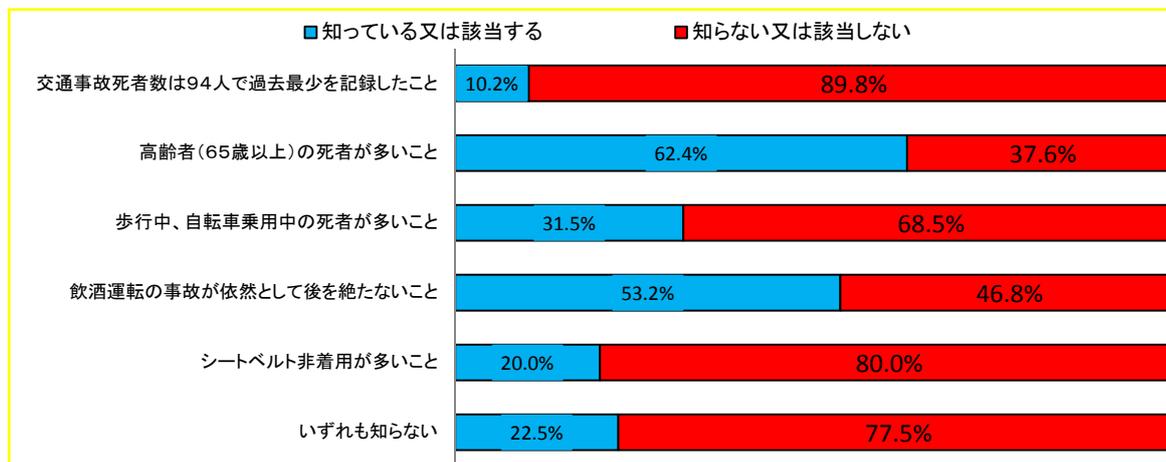
2 アンケート内容

- (1) 交通死亡事故の現状について(平成25年の死亡事故の特徴)
- (2) 交通事故防止キャンペーンについて①(重点4S対策)
- (3) 交通事故防止キャンペーンについて②(交通安全“見える・見せる”キャンペーン)
- (4) 交通事故防止キャンペーンについて③(追突“ゼロ”作戦)
- (5) 交通事故防止キャンペーンについて④(公開交通指導取締り)
- (6) 交通事故防止キャンペーンについて⑤(キャンペーンを知った媒体)

3 アンケート結果

- (1) 交通死亡事故の現状について(平成25年の死亡事故の特徴)

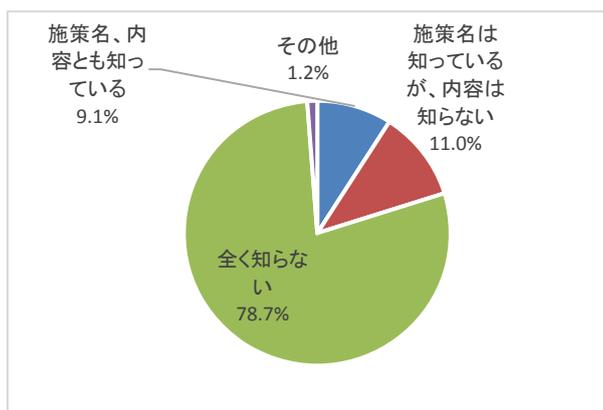
「高齢者(65歳以上)の死者が多いこと」は6割以上(62.4%・515人)、「飲酒運転の事故が依然として後を絶たないこと」については、5割以上の方(53.2%・439人)が「知っている」と答えています。一方で「交通事故死者数は94人で過去最少を記録したこと」は8割以上の方(89.8%・741人)「歩行中、自転車乗用中の死者が多いこと」は6割以上の方(68.5%・565人)、「シートベルト非着用が多いこと」は8割の方(80.0%・660人)が「知らない」と答えています。また、全体の2割以上の方(22.5%・186人)の方が「いずれも知らない」と答えています。



- (2) 交通事故防止キャンペーンについて①(重点4S対策)

交通事故の防止対策である「重点4S対策」（シルバー（高齢者）の交通事故防止、シートベルト着用推進、サケ（飲酒運転根絶）対策、スピード抑制対策）について、7割以上の方（78.7%・649人）がキャンペーン名も内容も「知らない」と答えています。

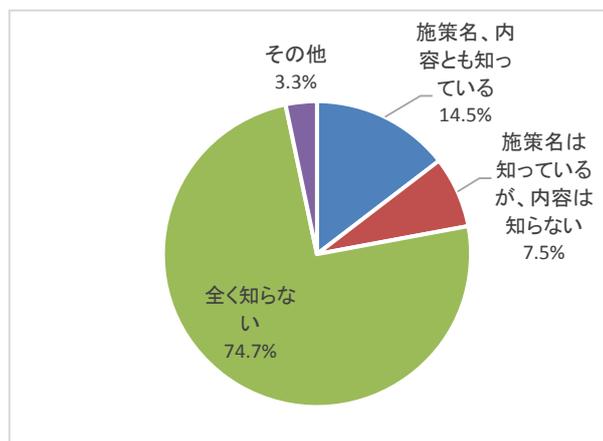
区分	人数
施策名、内容とも知っている	75
施策名は知っているが、内容は知らない	91
全く知らない	649
その他	10
合計	825



(3) 交通事故防止キャンペーンについて②（交通安全“見える・見せる”キャンペーン）

夜間及び薄暮時間帯における交通事故を防止するための「交通安全“見える・見せる”キャンペーン」について、7割以上の方（74.7%・616人）がキャンペーン名も内容も「知らない」と答えています。

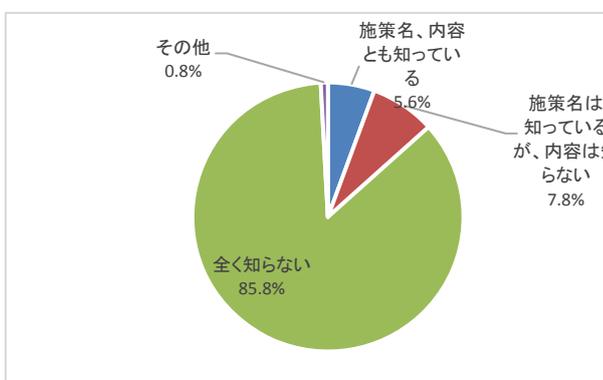
区分	人数
施策名、内容とも知っている	120
施策名は知っているが、内容は知らない	62
全く知らない	616
その他	27
合計	825



(4) 交通事故防止キャンペーンについて③（追突“ゼロ”作戦）

追突事故減少のための「追突“ゼロ”作戦」について、8割以上の方（85.8%・708人）がキャンペーン名も内容も「知らない」と答えています。

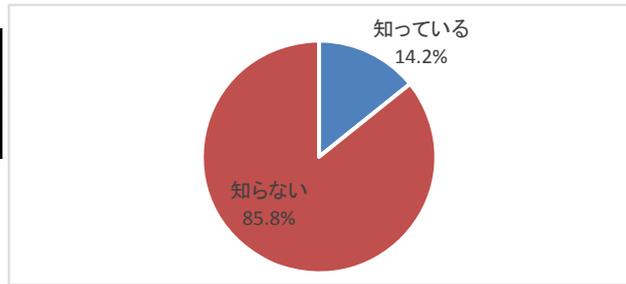
区分	人数
施策名、内容とも知っている	46
施策名は知っているが、内容は知らない	64
全く知らない	708
その他	7
合計	825



(5) 交通事故防止キャンペーンについて④（公開交通指導取締り）

「追突“ゼロ”作戦」の一環として、ドライバーの方に緊張感を保持した運転をしていたために実施している「公開交通指導取締り」については、8割以上の方（85.8%・708人）の方が「知らない」と答えています。

区分	人数
知っている	117
知らない	708
合計	825

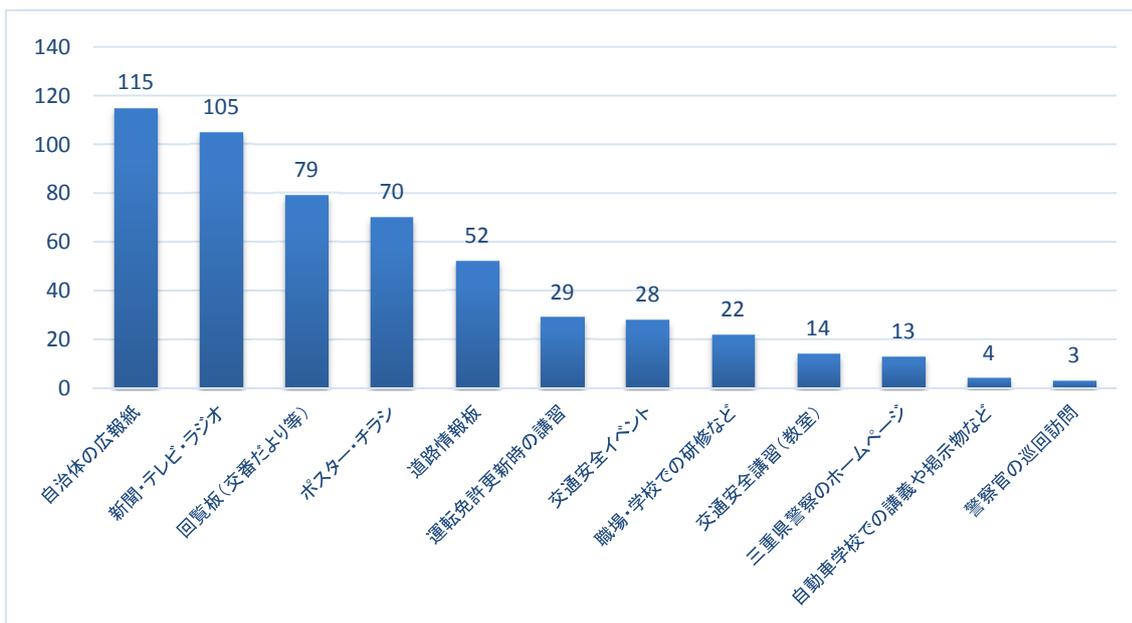


(6) 交通事故防止キャンペーンについて⑤（キャンペーンを知った媒体）

「重点4S対策」、「交通安全“見える・見せる”キャンペーン」、「追突“ゼロ”作戦」について「キャンペーン名、内容とも知っている」又は「キャンペーン名は知っているが内容は知らない」と答えた方、公開交通指導取締りについて「知っている」と答えた方294人のうちで、キャンペーンを知った媒体は「自治体の広報紙」と答えた方が最も多く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ」、「回覧板（交番だより等）」、「ポスター、チラシ」、「道路情報板」の順となっています。

全回答人数		294	
区分	回答人数	構成比	
自治体の広報紙	115	39.1%	
新聞・テレビ・ラジオ	105	35.7%	
回覧板(交番だより等)	79	26.9%	
ポスター・チラシ	70	23.8%	
道路情報板	52	17.7%	
運転免許更新時の講習	29	9.9%	
交通安全イベント	28	9.5%	
職場・学校での研修など	22	7.5%	
交通安全講習(教室)	14	4.8%	
三重県警察のホームページ	13	4.4%	
自動車学校での講義や掲示物	4	1.4%	
警察官の巡回訪問	3	1.0%	

(2)～(4)のアンケートで「施策名、内容とも知っている」又は「施策名は知っているが、内容は知らない」と答えた方、(5)のアンケートで知っていると答えた方294人を対象として調査を実施したもので、複数回答あり。



県政だよりに関する e-モニターアンケート実施報告

県政だよりに関するアンケートの実施結果を 下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきました e-モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

アンケート概要

- 1 実施期間 平成 24 年 9 月 16 日（火）から 10 月 6 日（月）まで
- 2 対象者数 1,181 人
- 3 回答数 825 人
- 4 回答率 69%
- 5 回答者属性

【性別】

	男 性	女 性
回答者数	448 人	377 人
構成比	54.3%	45.7%

【年齢階層別】

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
回答者数	77 人	165 人	198 人	190 人	162 人	33 人
構成比	9.3%	20.0%	24.0%	23.0%	19.6%	4.0%

※構成比については、小数点第二位を四捨五入しているため、合計は 100%になりません。

【地域別】

	北 勢	中南勢	伊勢志摩	伊 賀	東紀州
回答者数	400 人	233 人	104 人	68 人	20 人
構成比	48.5%	28.2%	12.6%	8.2%	2.4%

※北勢・・・四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢・・・津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩・・・伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

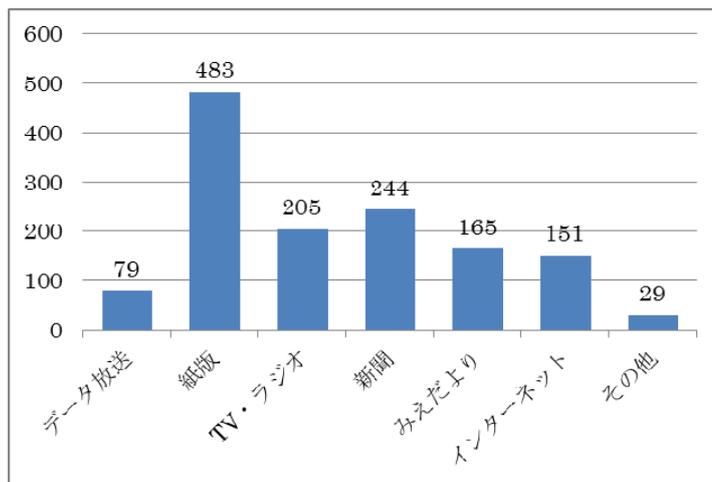
伊賀・・・名張市、伊賀市

東紀州・・・尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

アンケート結果の概要

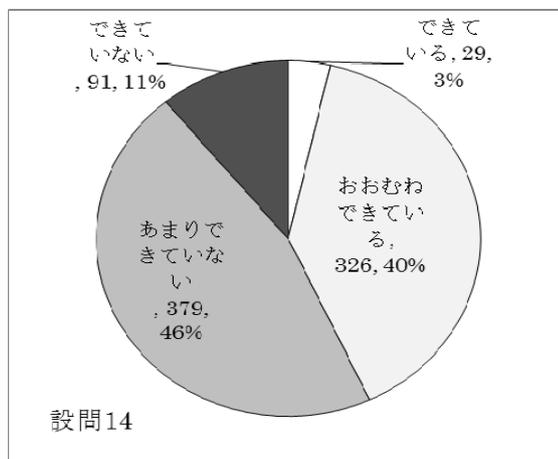
設問13 県政情報の入手について(1) ※複数回答可能(3つまで)

県政情報の入手方法についてお聞きしたところ、紙版「県政だより みえ」と回答された方が483人(58.5%)と最も多く、次に「新聞」で244人(29.6%)、「テレビ・ラジオ」は205人(24.8%)、新聞折込の県政情報チラシ「みえだより」は165人(20.0%)、「インターネット」は151人(18.3%)でした。データ放送版「県政だより みえ」は、最も少なく79人(9.6%)でした。



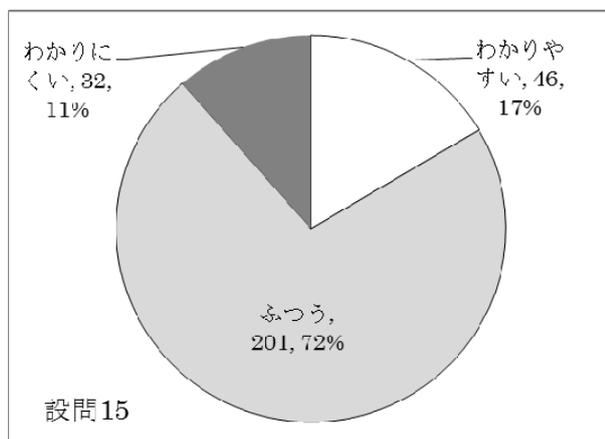
設問14 県政情報の入手について(2)

現在、必要な県の情報は入手できているかお聞きしたところ、「できている」「おおむねできている」と回答された方は355人(43%)と、「あまりできていない」「できていない」と回答された方の470人(57%)を下回りました。



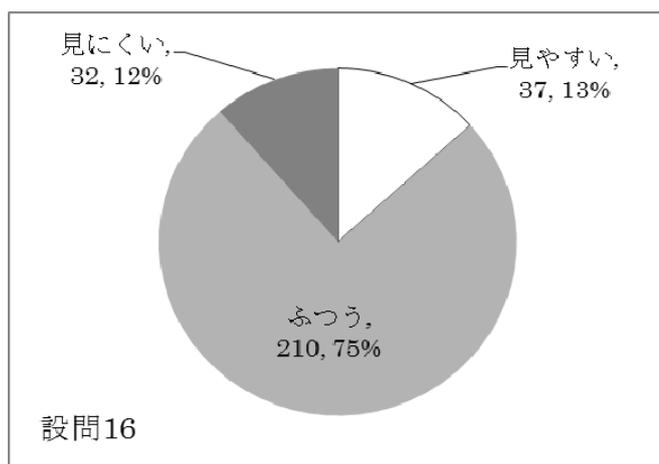
設問15 データ放送版「県政だより みえ」の操作方法について

データ放送版「県政だより みえ」の操作方法についてお聞きしたところ、「わかりやすい」「ふつう」と回答された方が247人（89%）、「わかりにくい」と回答された方は32人（11%）でした。



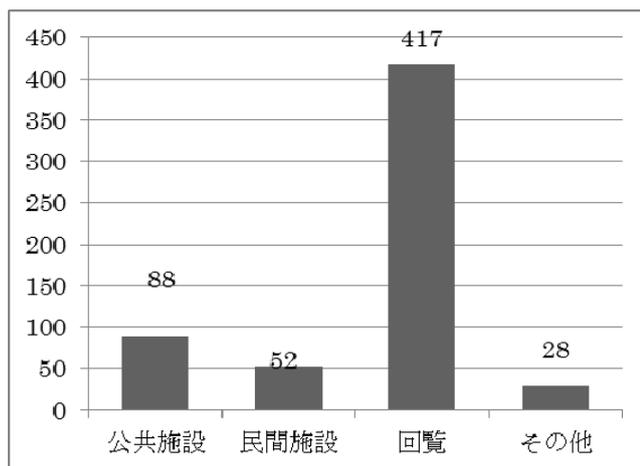
設問16 データ放送版「県政だより みえ」の見やすさについて

データ放送版「県政だより みえ」の見やすさについてお聞きしたところ、「見やすい」「ふつう」と回答された方が247人（89%）、「見にくい」と回答された方は32人（11%）でした。



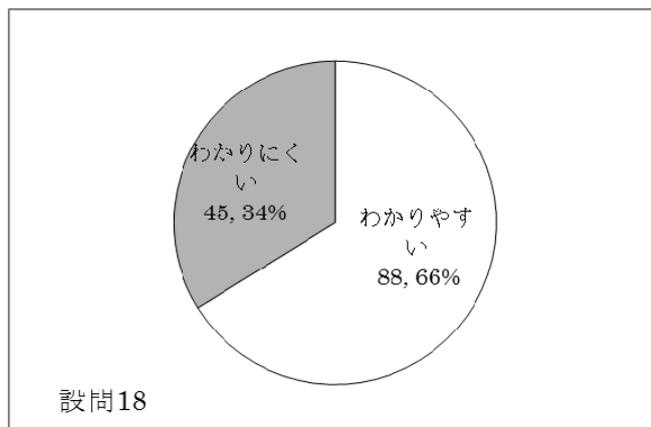
設問 17 紙版「県政だより みえ」の入手方法等について（1）

紙版「県政だより みえ」の入手方法等についてお聞きしたところ、「回覧で見た」と回答された方が最も多く417人（75%）、「市役所などの公共施設で入手した」と回答された方は88人（16%）、「スーパーマーケットなどの民間施設で入手した」と回答された方は52人（9%）、でした。



設問 18 紙版「県政だより みえ」の入手方法等について（2）

紙版「県政だより みえ」を「市役所などの公共施設」または「スーパーなどの民間施設」で入手したとお答えいただいた方に、配置場所はわかりやすかったかお聞きしたところ、「わかりやすい」と回答された方は88人（66%）、「わかりにくい」と回答された方は45人（34%）でした。



設問 19 「県政だより みえ」全般について

「県政だより みえ」の中で、「良かった」または「役に立った」ものや、今後取り上げてほしいテーマ、その他、ご意見等をお尋ねしたところ、たくさんのご意見をいただきました。

【取り上げてほしいテーマ】

特に多かった意見は次のとおりです。

- ・ 観光情報（各地のイベント、特産品、グルメ、穴場情報など）
- ・ 子育てに関する情報（子育て支援、男性の育児参加、子どもと楽しめるイベントやスポットなど）
- ・ 防災情報（防災対策、ハザードマップ、避難所での過ごし方やトラブルの対処法など）

このほかにも、「ボランティアなどの地域活動」「税」「医療・福祉」「食の安全」「防犯」「過疎対策」「県内の企業紹介」など、ご意見をいただきました。

【アイデア】

- ・ 暮らしに関係のある制度や政策を紹介してほしい。
- ・ 若い人たちも興味を持てるような内容を取り入れてほしい
- ・ 三重県民であることを意識するような魅力のある内容を取り上げてほしい
- ・ 県の仕事は市町に比べると見えにくいので紹介してはどうか
- ・ 視覚で訴えるようなビジュアル効果が必要
- ・ ポイントを3つくらいでまとめてほしい
- ・ テーマが峻別できるようなわかりやすい工夫が必要
- ・ 難しい用語は、解説があるとよい

【データ放送について】

- ・ データ放送は見にくい
- ・ データ放送で見られることを今知った。もっと周知を図ってほしい。
- ・ 紙版の置いてある場所をもっと周知すべき
- ・ 全戸配布を復活してください。

いただきました意見を踏まえて、今年度の編集を行うとともに、来年度以降の「県政だより みえ」に掲載する特集や連載記事のテーマ選定、紙面全体の読みやすさ等の検討に生かしていきます。